

# 31 空手道競技 実施要項

- 1 主 催 大分県高等学校体育連盟、大分県教育委員会
- 2 期 日 令和5年6月3日(土) 9:00 監督審判会議 9:30 開会式 10:00 競技開始(形種目)  
6月4日(日) 9:30 監督審判会議 9:50 開会式 10:00 競技開始(組手種目)
- 3 場 所 杵築市文化体育館(杵築市本庄2005) [監督審判会議：1Fミーティング室]
- 4 競技規則 (1) 全日本空手道連盟制定の空手競技規定に準ずる。  
(2) 競技の運用については全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。
- 5 競技種目 (1) 団体種目 a) 男子団体組手 b) 女子団体組手  
(2) 個人種目 a) 男子個人形 b) 男子個人組手 c) 女子個人形 d) 女子個人組手  
※団体種目は各校チーム対抗戦とする。
- 6 競技方法 (1) 組手競技について、団体種目はトーナメント方式とする。個人種目はトーナメント方式により上位4名を選出後、この4名によるリーグ戦を行い順位を決定する。  
(2) 形競技は個人種目のみで得点方式とし、第1～3ラウンドを行う。第3ラウンドにおいてメダルマッチ(決勝と3位決定戦)進出選手を選出する。  
(3) 組手競技では高体連指定の安全具(男子5点、女子4点)を着用すること。
- 7 参加資格 (1) 「第71回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。  
(2) 令和5年度の全日本空手道連盟および大分県空手道連盟の登録会員であること。
- 8 参加制限 (1) 団体種目は、監督1名、正選手5名、補欠3名の計9名とする。  
(2) 個人種目は、監督1名で選手は男女とも種目ごとに1校20名以内とする。
- 9 参加申込 大分県高体連webサイトより参加申込書をダウンロードして必要事項を入力する。  
2部印刷して、記載責任者は押印し、所定の学校一括申し込み手続きを行う。  
なお、承認を得た申込電子データを下記宛メールにて送信する。  
送信先：mizue-tomokazu@oen.ed.jp  
データ送信期限：5月9日(火)15:00必着  
空手道専門部 専門委員長 水江友和 (日田高等学校)  
ファイル名は R05県総体申込-学校名 (例：R05県総体申込-日田) とすること。
- 10 出場権の獲得 (1) 団体種目は1位に全国総体、1・2位に九州大会の出場権を与える。  
(2) 個人種目は1・2位に全国総体の出場権を与える。また、形種目の上位4名、組手種目の上位4名に加えて代表決定戦の勝者4名の計8名に九州大会の出場権を与える。
- 11 組み合わせ抽選 (1) 令和5年5月16日(火)13時～ 大分商業高校(高体連事務局) [期日は予定]  
(2) 組み合わせ抽選は、専門委員により抽選基準に基づいて行う。
- 12 連絡事項 競技方法の詳細は、本大会の申し合わせ事項(別紙・後日提示)により定める。

## 0. 競技規則

- (1) 全日本空手道連盟制定の空手競技規定に準ずる。
- (2) 競技の運用については全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。

## 1. 形競技

- (1) **予選（第1ラウンド～第3ラウンド）**  
審判7名(予選は5名)による得点方式で実施する。  
2名同時演武とし、欠場者が出た場合は詰めて赤青を振り分ける。  
第1ラウンドにて各パートから4名を選出、第2ラウンドにて2パート8名から4名を選出する。  
第3ラウンドにて2パート4名からメダルマッチ(3位決定戦と決勝)に進出する3名を選出する。  
第2ラウンド、第3ラウンドの演武順は抽選により決定する。  
第1ラウンドは指定形、第2ラウンドは得意形①、第3ラウンドは得意形②とする。
- (2) **3位決定戦**  
第3ラウンドのABパート2位とCDパート3位、ABパート3位とCDパート2位の選手により実施する。  
演武順についてはABパートからの選出者を赤とする。演武する形は得意形③とする。
- (3) **決勝**  
第3ラウンドの各パート1位2名により実施する。演武順についてはABパート選出者を赤とする。  
演武する形は得意形③とする。  
※1 メダルマッチ(3位決定戦と決勝)までに4つの形が必要である。  
※2 指定形および得意形は競技規定の付録17および付録18から選択しなければならない。

## 2. 組手競技

- (1) **安全具**  
以下の高体連指定の安全具を着用すること。  
【女子】 正拳サポーター(全空連検定・赤青)、ボディープロテクター(高体連指定または全空連検定)、ニューメンホー(タイプVIまたはVII、マウスシールド着用)、シンガード・インステップガード(高体連検定)の4点  
【男子】 女子の4点にセーフティーカップを加えた5点
- (2) **団体組手**  
団体組手はトーナメント方式とする。  
2回戦までは全員競技を実施させる。3回戦以降は勝敗が決した時点で競技終了とする。  
チームのメンバーが5名に満たない場合、選手を先鋒から大将までの何処に配置してもよい。
- (3) **個人組手**  
個人組手はトーナメント方式により各パート1名を選出する。選出された4名により総当たりのリーグ戦を行い、順位を決定する。リーグ戦の試合順は選出パートにより編成しており、プログラムに掲載の通りとする。改めて抽選は行わない。  
ただし、リーグ戦における勝ち数が同数の場合は、以下の基準により順位を決定する。  
優先1) 直接対決の結果 優先2) 得失点差
- (4) **九州大会代表決定戦**  
各パートの勝者4名には九州大会の出場権が与えられる。九州大会出場枠8名のうち、残りの4名については、各パートの結果により以下の方法にて各1名を選出する。
  - 1) 対象者 各パートの決勝リーグ進出者に「ベスト16」の試合で敗れた者と「ベスト8」の試合で敗れた者
  - 2) 決定戦 上記1)の2名により代表決定戦を行い、その勝者に九州大会の出場権を与える。
  - 3) 注意 個人組手決勝リーグ終了後に決定戦を行うので、対象となる選手は把握すること。
- (5) **競技時間**  
基本的には大会プログラムに掲載の通りである。以下は基準として示す。

団体組手	決勝のみ	2分間フルタイム、8ポイント差
	決勝以外	試合時間2分(1分45秒流し、残り15秒フルタイム)、6ポイント先取
個人組手	決勝リーグ	2分間フルタイム、8ポイント差
	上記以外	試合時間2分(1分45秒流し、残り15秒フルタイム)、6ポイント先取 (上記以外には九州大会代表決定戦を含む)

## 3. その他

- (1) **ゼッケン**  
選手は全国高体連空手道専門部指定のゼッケンを空手道衣の背中に縫い付けて着用すること。  
令和5年度版ゼッケンの購入については別途案内する。なお、令和3・4年度のものも使用を認める。
- (2) **九州大会への審判員派遣**  
九州高体連空手道専門部の申し合わせにより、各県4名の審判員を派遣することになっています。  
審判員が派遣できない学校にて審判員派遣費を負担していただきます。